

# 議会だより

鳴門市議会だより

発行/鳴門市議会  
TEL.088-684-1234 FAX.088-684-0814  
編集/議会だより編集委員会  
発刊/2011年3月1日

No. 74



平成23年2月20日に開催された「議会基本条例」公開公聴会の模様

## CONTENTS

**2~3** 第4回定例会の主な審査状況  
第4回定例会の提出議案と議決結果について  
請願の処理  
議案第109号に対する記名投票の結果  
議案109号の委員会審査の概要(生活福祉委員会)  
「議会基本条例」公開公聴会を開催

**4~7**

一般質問

**代表質問**

- 新みらい ……橋本 国勝
- 優志会 ……榎原 幸告
- ひまわり ……宅川 靖次
- 郷土 ……潮崎 焜及
- 明政クラブ ……谷崎 徹
- 公明党 ……山本 秀

**個人質問**

- 松浦 富子 ●大石美智子
- 上田 公司 ●山根 巖
- 三津 良裕

**8**

議長・副議長・監査委員の改選について  
第1回定例会日程  
人事案件

### ○第四回定例会について

平成22年11月30日から12月22日までの23日間、第4回定例会を開催しました。今定例会では一般会計補正予算案2件、条例改正等の議案11件のほか請願及び意見書案、人事案件について審査を行いました。

### ○議会基本条例の提案について

平成22年第4回定例会の最終日にあらためて鳴門市議会基本条例案を提案しました。本条例案は議会運営委員会に付託し、閉会中に委員会を開催するとともに、議員全員で構成する協議の場を設置し、慎重に審査、調査及び協議を行うこととしました。

第四回定例会の主な審査状況

11月30日(火) 第四回定例会 開会

市長から市政についての所信が表明され、平成22年度一般会計補正予算など議案12件が提出されました。

補正予算議案1件及び給与関係の条例改正案4件を、それぞれ所管の委員会に付託しました。同日、施行日の都合により、総務文教委員会を開催し、所管の給与関係条例改正案4件の審査を行いました。

後刻本会議を再開し総務文教委員長の審査報告を受け、採決の結果、原案のとおり可決しました。

12月6日(月) 一般質問

6会派による代表質問を行いました。

12月7日(火) 一般質問

議員3名による個人質問を行いました。

12月8日(水) 一般質問

議員2名による個人質問を行いました。

その後議案7件及び請願1件をそれぞれ所管の常任委員会に付託しました。

12月9日(木) 総務文教委員会

付託された6議案及び請願1件については審査を行った結果、議案についてはいずれも可決、請願については採択すべきと決しました。

12月10日(金) 生活福祉委員会

付託された議案第109号について審査を行った結果、否決すべきと決しました。

した。

12月13日(月) 産業建設委員会

企業の進出・公設市場水産部卸売業務の現状・ポートピア土佐についての報告事項3件の調査を行いました。

12月14日(火)、17日(金) 予算決算委員会

一般会計補正予算案2件について審査を行った結果、いずれも可決すべきと決しました。

12月17日(金) 本会議

本会議を再開し、第4回定例会に提案されたすべての議案について、各常任委員長の報告を受け、採決を行いました。その結果、議案第109号廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正についての議案は記名投票により否決し、その他の議案はいずれも可決しました。また、請願1件を採択し、意見書案を可決しました。

12月22日(水) 第四回定例会 閉会

本会議の冒頭において鳴門市議会基本条例及び協議等の場の設置決議を提案しました。条例案については議会運営委員会に付託のうえ閉会中の継続審査に付し、決議案については委員会付託を省略し採決の結果、原案のとおり可決しました。議長・副議長の辞任に伴う選挙、議会選出監査委員の辞任に伴う同委員の選任等の議会の構成の一部変更を行いました。

第四回定例会の提出議案と議決結果について

Table with 4 columns: 議案番号, 案, 件, 議決結果. Lists 15 items including budget amendments and ordinance changes.

請願の処理

Table with 3 columns: 請願番号, 案, 件, 議決結果. Lists 10 items regarding territorial sovereignty.

# 議案第109号に対する記名投票の結果

「議案第109号廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について」は、去る12月17日の本会議において生活福祉委員会での審査結果の報告を受け、記名投票により採決を行いました。

その内容は近隣市町との均衡をはかるため、し尿の収集、運搬及び処分に関する手数料の額の規定を改めるものであります。

採決の結果は、原案に賛成7票、反対14票で同議案は否決されました。

議員の賛否については次のとおりです。

(○：賛成 ●：反対)

議 案	宮崎 光明	宅川 靖次	榎原 幸告	佐藤 絹子	藤田 茂男	松浦 富子	山根 巖	東 正昇	林 勝義	秋岡 芳郎	上田 公司	潮崎 焜及	山本 秀	横井 茂樹	三津 良裕	大石美智子	谷崎 徹	坂東 成光	平塚 保二	橋本 国勝	川田 達司
議案第109号 廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について	○	○	●	○	●	●	○	○	●	●	●	●	○	○	●	●	○	●	●	●	●

なお、地方自治法第116条により野田粹之議長は議決に加わることはできません。

## 議案109号の委員会審査の概要 (生活福祉委員会)

### ◎理事者の説明

し尿収集運搬業務は平成19年4月に行政改革の一環として、直営方式から民間への許可制度へ移行し、民営化に向けて円滑な移行を図るために手数料額を据え置いていた。現行の手数料は近隣自治体との比較では最低水準にあり、収集困難な地域も同額で収集を行っている。また収集戸数も年々減少しているため、許可業者は運営に支障を来している。このため、手数料を県内の平均的な水準である20リットルあたり150円から180円に改めたい。

### ◎委員の意見

・近隣市町村との比較だけで値上げの理由を説明するのではなく、地域の実態を把握するための調査の実施や、本市の他の公共料金等との整合性の検証などを含め、鳴門市として行政サービスを提供するため、最大限努力した結果を十分に市民に対し説明し、理解を得てから条例改正に至るべきであり、時期尚早である。

・一度に2割(30円)を引き上げるのではなく、段階的に引き上げ、その段階に於いて適正額との差額を業者に補助するなど、業務の安定化を図る

と同時に、市民の負担が急増することがないよう市民の立場に立った施策が必要である。

・収集戸数が減少していく中で、収集困難地区では水洗化が困難な世帯も存在する。対象戸数の減少に伴い手数料の増額が予想され、高齢者、低所得者等の生活弱者に対する公正で適切な措置が必要である。

・収集許可業者においては採算がとれない状況で業者に運営させるのは好ましくなく、手数料増額のほかに採算部分を補助する方法も考えられるが、この手数料の引き上げ幅の負担を求めるとはやむを得ないのではないか。

## 「議会基本条例」公開公聴会を開催

2月20日(日)、鳴門市議会では、議会基本条例の審議に役立てるとともに、市民の皆様にご理解を深めていただくため、鳴門市老人福祉センターを会場に「議会基本条例」公開公聴会を開催しました。

講師には、北海道栗山町議会サポーター、三重県議会改革諮問会議会長を務めるなど幅広く活躍されている山梨学院大学法学部教授の江藤俊昭(えとうとしあき)氏を迎え、「住民自治の進展と議会基本条例について」

の基調講演を拝聴しました。

その内容は、①自治型社会の議会の役割、②議会の今までの、③議会のこれから、④新しい自治体Ⅱ地方政府を考える、⑤自治型社会の議会にするために、以上の5項目の構成でありました。

基調講演の後、全議員による江藤先生との質疑応答が行われ、活発な意見の交換がありました。当日は、約230人の市民の皆様や淡路市議会ほか県内各地

の議会関係者の方々にご来場いただき、この模様を傍聴していただきました。

すでに、皆様もご承知のように鳴門市議会では平成22年第2回定例会において議会基本条例を提案しましたが、市長の再議の手續きで紛争が生じ、徳島県に調停を申し入れた結果、昨年10月に調停が成立しました。その後昨年の第4回定例会において、調停に従い、改めて鳴門市議会基本条例を提案し、全議員で構成する協議の場を設置し、協議を行っているところです。

# 代表質問

記事については、各議員が質問内容より抽出し、執筆しております。

## 財政の見通し・競艇事業について

新みらい 橋本 国勝

【問】本市の財政見通しについて伺いたい。

【答】鳴門市スーパー改革プランでは、平成26年度までの中期財政収支見通しで約40億円の累積収支不足が生じる見込みとなっている。改革プランの着実な取り組みにより、5年間で15億円以上の財政効果額を確保することなどにより、平成26年度末における普通会計基金残高を17億円以上確保することとしています。

【問】競艇事業の今年度の収支見通しについて伺いたい。

【答】非常に厳しい経営状況を打開するため、経営改革アクションプランを策定し様々な施策に取り組んでいます。経営改善戦略として、臨時従事員の賃金見直しや無料バス路線の見直しなどを行います。



ポートルース鳴門 外向前売発売所

たが、その効果は短時間であらわれるものがありません。今年度の収支見通しは、最終的にはアクションプランの収益的収支計画に近づけるよう取り組んでまいります。

【問】外向前売発売所拡張事業の内容について伺いたい。

【答】ポートルース振興会の3億円の支援制度を活用し、平成23年10月の開設に向け、現施設の西隣に収容人員約500名の施設を設置します。

## 地方経済対策について

優志会 榎原 幸告

滞留型施設として衣替するもので最大4場発売を行い、年間を通して様々なポートルースを楽しんでいただくことにより新たな客による売上向上が図られます。現在の外向前売発売所と比較して年間約15億円の売上増加を見込み、約1億円の収益を見込んでいます。

【問】行財政改革として歳出削減に取り組んでいるが、それだけでは明るい未来はイメージできない。歳入確保、儲かることを合わせてやっていく必要がある。新しい産業の創出は厳しい時代における競争に勝つための切り札になると考える。今、どのような最先端技術が研究されているのか、どのような競争がなされているのか、国や他の自治体の動向はどうか、あるいは鳴門市に導入できる可能性とメリットなど常々調査研究する必要があると思うがどうか。

【答】新技術や新産業に関する調査研究は必要であり、他の

の市町村の動向や国などによる新技術に関する実証実験のほか、議員ご提案の小水力発電についても、徳島小水力利用推進協議会の行事に参加するなど幅広く情報収集に努めています。

【問】これまでに調査研究した実績はあるのか。

【答】新技術・新産業に関する具体的な調査研究実績はありませんが、現在本市では、コミュニケーションビジネスの推進を重点課題・重点事業に掲げ、先進事例などの調査研究及び創業セミナーなども開催しています。コミュニケーションビジネスを通じて、エコビジネスなどの環境分野をはじめ、介護、医療、福祉分野や広く観光分野などまで、地域住民参加による新産業創出につなげてまいりたいと考えています。

## 自治基本条例素案について 公設地方卸売市場について

ひまわり 宅川 靖次

【問】自治基本条例素案の現状の取り組みと今後の展開について伺いたい。

【答】自治基本条例素案の策定過程においては市民参画を図り市民の自治意識の醸成を図っていくことが重要であると考へ、これまで計105回延べ1625人の参画を得て策定してきております。パブリックコメント手続を実施し、さらに市民の方々から意見を聴取してまいります。自治基本条例は本市の自治体運営の基本ルールを定め、ある意味、理念条例としての側面がありますので、条例をもとにまちづくりや協働を進めるための声をどう取り入れていくかが大切だと考えています。

【問】本年度内に市民フォーラムを開催し、市民の理解、周知に努め条例理念の浸透に努めてまいります。

【答】全国的な傾向として地方卸売市場は厳しい運営を強いられています。全国の卸売市場の動向に着目し、国補助金を活用し、活性化に向けた調査研究に着手します。市場関連法令、予算措置、運営方法等、さまざまな角度から市



鳴門市公設地方卸売市場

民、市議会、市場関係者等の意見を拝聴しながら施設の存続や活性化策などあらゆる検討を行い、平成24年度末までに方針を決定し取り組みます。

### 入札の高額落札について 市長の政治姿勢について し尿処理の手数料の値上げについて

郷土 潮崎 焜及

【問】鳴門市の公共工事の入札では落札率が11月10日現在で半数以上の公共工事で落札率が95%を超えている。落札率が93%を超える入札は全体の67%を占めており、また全体の割合で31%が落札率98%

を超えている。一般的に落札率が90%以上であれば談合疑惑が常識といわれており公共事業入札に競争原理が殆ど働いていない現状を放置しているのではなく、これからどう検討していくのかを聞きたい。

【答】極端に異常な率ではないし競争性は十分に確保されていると認識しています。

【問】再任用制度をゼロペー  
スで見直すとは表明している  
が、ゼロベースのゼロは全て  
であり、廃止ではなく採用の  
方法を慎重にするだけなら  
「うそ」であり再任用制度の  
見直しの考えを聞きたい。

【答】平成23年度当初予算の  
説明時点で概数を示したい。

【問】廃棄物の処理等につい  
ての条例の改正を提出して、  
し尿処理の手数料を値上げし  
ようとしている。公共下水道  
事業では財政の危険をさらし  
ながら、経済的な弱者をいじ  
める、し尿処理の手数料を値  
上げしようとしている。市民  
の内の経済的な弱者の方をい  
じめ抜いて業者側に立つ行政  
運営をしている。市民に何の  
説明もしないで値上げをする

のは反対。  
【答】近隣自治体との比較で  
は最低水準であり、やむを得  
ない措置であると御理解いた  
だきたいと存じます。

### 市民の安全・ 安心の確保について

明政クラブ 谷崎 徹

【問】市民の安全・安心の確  
保の為に、ますます進む高  
齢化社会の中での救急対応や  
大規模災害時における対応な  
ど、実際に現場活動にあたる  
消防署員や消防団員など、消  
防体制の充実がさらに求めら  
れている。消防体制の現状に  
ついて伺いたい。

【答】消防については、地震  
や風水害等の大規模災害等へ  
の備えの強化等に対する対応  
が求められています。消防署  
員にあつては研修等で業務に  
従事できない職員を除いた現  
員数は職員定数に対し91%の  
充足率であり、今後、増員等  
も検討しなければならぬと  
考えています。また、消防団  
員につきましては、平成10年  
には896人まで減少してい  
た団員数が、平成22年4月現

在で957人まで増員となつ  
ており、今後も各分団や地域  
の方々のご協力を得ながら、  
さらなる入団促進に努めてま  
いります。

消防団員募集ポスター



消防団員募集

【問】木造住宅の耐震診断及  
び耐震改修の支援事業を行っ  
ているが、耐震診断を受けた  
住宅のうち改修したのは数%  
にしか及んでいない。大きな  
財政負担が伴うことなどが要  
因となり進んでいないと考え  
られるが、改修による税の軽  
減措置などはないのか。また  
大規模な改修ではなく一部屋  
だけのシェルター化事業があ  
るが支援の予定はないのか伺  
いたい。

【答】改修により所得税額の  
控除や固定資産税の減税措置  
があります。また、シェルタ  
ー化事業については新年度で  
取り組んでまいります。

### 医療費削減を図るためのジ ェネリック医薬品（後発医 薬品）の普及について

公明党 山本 秀

【問】医療費負担の軽減と国  
保財政の健全化を図るため  
に、国民健康保険被保険者に  
対して、安価な医薬品である  
ジェネリック医薬品促進通知  
サービスを実施し、医療費削  
減を着実に進めてはどうか。

後発医薬品は新薬と同じ効能  
や成分がありながら新薬の2  
割から7割と格安な薬です。  
糖尿病など医療費削減の効果  
が大きいとみられる人を対象  
に通知を郵送。通知を受ける  
市民にとっては後発医薬品に  
切りかえることで、安くなる  
医療費を一目で知ることがで  
き、薬局でジェネリック医薬  
品を求めやすくなる。  
鳴門市も安価な医薬品の普  
及を図るためにジェネリック  
医薬品促進通知サービスを実  
施し、医療費負担の軽減と国  
保財政の健全化に積極的に取  
り組んではどうか。  
【答】ジェネリック医薬品差  
額通知の個別送付を県内の市

# 個人質問

町村国保で初めて行くべく、来年の2月に郵送できるよう取り組んでいます。また広報などと2月号などにより広報活動にも取り組んでまいります。

**【問】** 新卒者の就職が氷河期でかつてなく厳しい。公明党は卒業後3年間は新卒扱いとする新卒要件の緩和を国において主張している。

## 福祉行政について 子育て支援の取り組みについて

まつら 松浦  
とみこ 富子

**【問】** 鳴門市の働き場所や、高額な保険や介護などの社会的要因が原因で、特に若い世代が鳴門市から流出しているが、とめる政策を伺いたい。

**【答】** スーパー改革プランの5つの方向性のひとつの、できるだけ人口流出しないよう、なるとソフトノミックスパークへの企業誘致や、私みずからトップセールスを積極的にやってまいります。

**【問】** 鳴門市の将来の経済や

鳴門市の職員採用においても臨時、嘱託、アルバイトなどの採用において就職支援策に万全を期すべくどのような取り組みをするのか。

**【答】** 臨時的任用職員を採用する中で、有能な人材を確保することを基本とし、何らかの配慮ができないか、今後検討してまいります。

生産性を維持する為に、いつまでに何人の生産人口を、どのような計画で増やすのか、具体的な政策を伺いたい。

**【答】** 具体的には、産業振興政策の充実や都市基盤の整備を図り、また住宅施策や行政サービスの水準を高めることにより魅力的なまちづくりを進めてまいります。

**【問】** 一括交付金になったら保険や介護がさらに苦境にたたされるが、公共下水道の財源確保や制度が維持できない場合はどうするのか伺いたい。

**【答】** 平成23年度については、都道府県分の一部が一括交付金になり市町村への直接

的な影響はない見込みです。

**【問】** 国では公明党の推進で、ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチンの補正予算が成立しましたが鳴門市での取り組みを伺いたい。

**【答】** 都道府県に基金を創設し、国2分の1、市町村2分の1で事業を実施する事としています。鳴門市といたしましては、来年1月から全額助成で実施できるよう準備を進めています。

## 農業・漁業の問題について 児童虐待について

おおいし みちこ 大石美智子

**【問】** TPP参加の場合、本市経済の主軸を担う農業経営への対策は。また、消費者ニーズに合った販売形態や海外への販路拡大について考えを伺いたい。

**【答】** TPPにより関税が撤廃されると県内農林水産業への影響は329億円もの減少が見込まれ、食料自給率も40%から14%に低下すると見込まれています。あらゆる施策に積極的に取り組み農業の維持発展に官民一体となり全力

で取り組みます。

**【問】** 公設市場について一般客や観光客など需要拡大に向け、条例改正等での見直しをするのが望ましいのではないのか。

**【答】** 公設市場の今後の活性化に向け、あらゆる可能性を検討し、24年度末までに方針決定を考えています。

**【問】** 児童虐待及び防止策について本市の状況を伺いたい。

**【答】** 本市児童虐待も増加傾向で平成19年度27件、平成20年度30件、平成21年度11月末です。本市としては家庭相談室を設置し相談に対応しています。

虐待通告があった場合、48時間以内に児童の安否確認を行い、



児童相談所全国共通ダイヤル 0570-064-000

## 市職員について ゴミ対策について

うえだ 上田  
こうじ 公司

**【問】** 浄水場及び競艇臨時従事員や給食調理員など市職員等の今後の処遇等について。

**【答】** 浄水場に関しては、民間活力の導入も選択肢のひとつではないかと考えています。今後人材確保を含め精査します。競艇臨時従事員に関しては、初の試みとして自己申告書の提出をしていただき、組合との調整を得てよりよい適正配置を実施してまいります。給食調理員については現状のまま推移すれば、円滑な学校給食の運営が厳しいことは認識しています。今後は密接な連携を保ちつつ、正



鳴門市指定ごみ袋

規及び臨時調理員がこれまでも増して安心して働ける環境づくりに努めてまいります。全体の職員数の削減に対応して、簡素で効率的な組織・機構作りなどを推進してまいりますとともに、職員数の削減による職員への負荷増大については、精神面でのケアを充実させる必要があると考えられています。

また、幼稚園教諭などの専門職種における臨時的任用職員については、経験や実績などを賃金等に反映できないか検討してまいります。

【問】近隣自治体よりも高額なごみ袋について、ごみ対策に対する市民の取り組みの成果が見られるなか、値下げや

廃止を行うべきではないのか。  
【答】導入の経過や現状の把握を含め、現状では今の状況を継続させていただきたい。

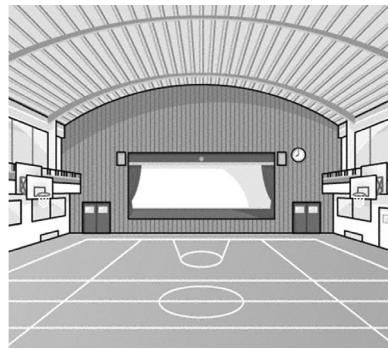
教育行政について

山根 巖

【問】幼稚園現場に多くの臨時職員を任用し、担任も臨時職員が務めるなど十分な指導体制が整っていないように思われる。なぜこれだけ多くの臨時職員が必要なのか伺いたい。

【答】1つには社会環境の変化による少子化の影響で1学級のみの小規模な幼稚園が増えたことや、市の財政状況により職員の採用を長期に中断してきたこと。2つ目は幼稚園教育の充実により少人数指導として年少児の30人学級を実施していることや、障害のある幼児の実態に応じた指導体制の整備を進めてきたこと。さらに預かり保育を安全でかつ適切に運営するための指導体制の充実を図っていることなどが挙げられます。学級担任につきましては、幼児、家庭との信頼関係のもと健全

な学級経営を行っていくためにも、できるだけ正規教員を配置できるような次計画的な採用を進めており、今年も2名の採用を予定しています。  
【問】小・中学校8施設の体育館の床がコンクリートの上にウレタン樹脂を塗った極めて危険なものがあるが、その対策について伺いたい。



【答】床の改修につきましては、平成27年度を目途に進めております小・中学校校舎及び体育館、幼稚園の耐震化対策とあわせて検討、実施してまいります。

広域行政について

三津 良裕

【問】今、鳴門市には約1,200の行政事業がありま

す。地方分権・地方主権の中で、これからの鳴門市が主体的に進めていく事業や近隣の市町村と連携を取りながら進める方がよい事業がある。例えば、ごみの焼却場・広域処理、公共下水道、国民健康保険、消防などは、各市町村の範囲を超えて広域に取り組んだ方がよい事業である。これからの鳴門市の広域行政について伺いたい。

【答】各地域が抱える共通の行政課題があり、広域化によりサービスの向上、事務の効率化が見込まれる事業については、関係市町村との連携、協力体制を確立し、広域連携のあり方について模索してまいります。

【問】政府の地域主権戦略会議で決まったように、各補助金が一括交付金化されますと、市町村の独自のやり方で、その使い道・方向性が定まってくる。鳴門市は予算編成にどのような姿勢でいるのか伺いたい。

【答】市町村については、平成24年度からの導入であり、今後の動向を注視して、一括交付金の額について現行の補

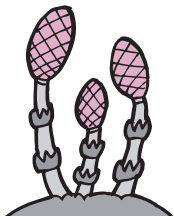
助金総額が確保されるよう、提案や要望を行いたいと考えられています。

【問】関西広域連合がいろんなテーマを持って、発足しました。本州四国連絡道路の新料金制度などについて、どのように取り組むのか伺いたい。



本州四国連絡道路 鳴門IC

【答】これまで要望してきた全国一律料金制について、県や近隣市町村と連携を図り、働きかけたいと考えています。



議長・副議長・監査委員の改選について

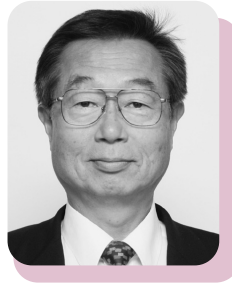
昨年の第4回定例会閉会日(12月22日)において、野田粹之議長、川田達司副議長、横井茂樹監査委員がそれぞれの役職を辞任したことに伴い、議長・副議長の選挙及び議会選出監査委員の選任が行われました。その結果、議長に三津良裕議員、副議長に秋岡芳郎議員が選出されました。議会選出監査委員には林勝義議員が選任されました。



監査委員 林 勝義



副議長 秋岡 芳郎



議長 三津 良裕

三津良裕議員の議長就任、秋岡芳郎議員の副議長就任に伴い産業建設委員長の空席となったため、それぞれ産業建設委員長に藤田茂男議員が、予算決算副委員長に潮崎焜及議員が選出されました。鳴門市議会の各常任委員会及び議会運営委員会の構成については次のとおりです。(◎印は委員長)

- ◎印は副委員長、敬称略
- ◎宮崎光明◎宅川靖次、榎原幸告、佐藤絹子、野田粹之、松浦富子、山根 巖
- ◎東 正昇◎上田公司、潮崎焜及、林 勝義、山本 秀、横井茂樹、秋岡芳郎

- ◎産業建設委員会
- ◎生活福祉委員会
- ◎総務文教委員会

- ◎藤田茂男◎大石美智子、川田達司、谷崎 徹、坂東成光、平塚保二、橋本国勝
- ◎山本 秀◎潮崎焜及

- (委員は議長を除く全議員)
- ◎橋本国勝◎榎原幸告、東 正昇、川田達司、谷崎 徹、野田粹之、山本 秀、横井茂樹

第一回定例会日程

平成23年第1回定例会は2月15日から3月18日までの32日間の予定です。

2月15日(火)	第一回定例会開会・予算決算委員会(議案説明)
16日(水)	休会 一般質問通告締切
17日(木)	休会
18日(金)	休会
19日(土)	休会
20日(日)	休会
21日(月)	一般質問
22日(火)	一般質問
23日(水)	一般質問・予算決算委員会(議案説明)
24日(木)	休会 予算決算委員会全体質疑(特別質疑) 通告締切
25日(金)	休会 予算決算委員会全体質疑(普通質疑) 通告締切
26日(土)	休会
27日(日)	休会
28日(月)	休会
3月1日(火)	休会
2日(水)	休会 予算決算委員会(全体質疑)
3日(木)	休会 予算決算委員会(全体質疑)
4日(金)	休会 総務文教委員会
5日(土)	休会
6日(日)	休会
7日(月)	休会 生活福祉委員会
8日(火)	休会 産業建設委員会
9日(水)	休会 予算決算委員会第一分科会
10日(木)	休会 予算決算委員会第二分科会
11日(金)	休会
12日(土)	休会
13日(日)	休会
14日(月)	休会
15日(火)	休会 予算決算委員会(分科会報告・採決)
16日(水)	休会
17日(木)	休会
18日(金)	休会 第一回定例会閉会

※太字についてはインターネット中継を実施します。

人事案件

第四回定例会

人権擁護委員に

- 巨 一弘氏(瀬戸町)
- 小川 信子氏(撫養町)

議会だより 編集委員会

- 委員長 橋本 国勝
- 副委員長 榎原 幸告
- 委員 松浦 富子
- 委員 山根 巖
- 委員 東 正昇
- 委員 林 勝義
- 委員 大石美智子